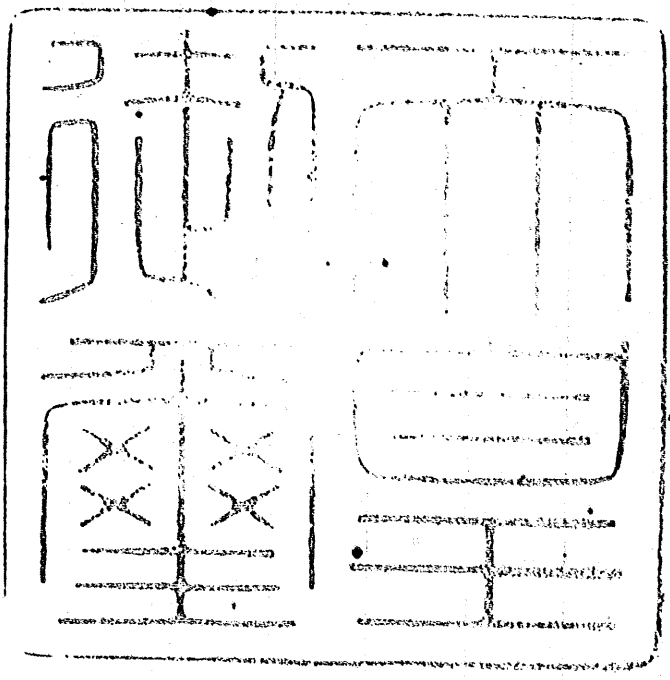


法律第百四十二号

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル種牡牛検査  
法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治四十年四月九日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
農商務大臣 松岡康毅

法律第四十二號

種牡牛検査法

第一條 牡牛ハ本法ニ依リ検査ヲ受ケ  
合格シタルモノニ非サレハ種付ケニ  
使用スルコトヲ得ス

第二條 検査ニ合格シタル種牡牛ニハ  
體ノ一部ニ烙印シ其ノ所有者ニ證明  
書ヲ下付ス

第三條 證明ノ效力ハ滿一箇年トス但  
シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間ヲ

伸長スルコトヲ得

前項期間内ト雖疾病其ノ他ノ事故ニ  
因リ種牡牛ニ不適當ナリト認メタル  
トキハ證明ノ效力ヲ停止シ又ハ之ヲ  
取消スコトヲ得

第四條 検査ニ關スル費用ハ國庫ノ負  
擔トス

第五條 本法ハ官廳所有ノ種牡牛ニ之  
ヲ適用セス

第六條 學術研究ノ為牡牛ヲ種付ケニ

使用セムトスル者アルトキハ地方長  
官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經特ニ其ノ  
種付ケヲ許可スルコトヲ得

第七條 検査ニ合格セサル牡牛又ハ證  
明ノ效力ヲ失ヒ若ハ停止セラレタル  
種牡牛ヲ種付ケニ使用シタル者ハ二  
十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 種牡牛検査ノ標準ハ農商務大  
臣之ヲ定ム

附則

第九條 本法ハ明治四十年七月一日ヨ  
リ之ヲ施行ス

第十條 農商務大臣必要ト認ムルトキ  
ハ當分ノ内島嶼ニ限り本法ヲ施行セ  
サルコトヲ得

第十一條 本法施行前ニ與ヘタル種牡  
牛ノ免許ハ其ノ免許期間效力ヲ有ス